



年頭の挨拶

日立労働基準監督署長

細谷 克

新年明けましておめでとございます。

日立労働基準協会会員の皆様方には、日頃より労働基準行政に対し、格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年を振り返りますと、労働災害は、茨城県全体としては増加傾向にあります。当署管内においては、ほぼ横這いの状況にあり、更に、死亡災害については、一昨年は全産業において四名となっており、昨年についても全産業で二名の方の命が失われており、残念な結果となっております。

今年こそ、労働災害の大幅な減少、特に死亡災害は0を念頭に、諸々の対策を講じていきたいと考えておりますので、昨年に増しましてご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

小生、平成七年四月署長職を拝命して以来、約十二年、この職に在任し現在に至り、その間、いろいろな体験・経験をさせて頂いております。多くの人との出会いもあり、楽しい思い出も沢山ありますが、やはり、仕事中に人の命が失われるという死亡災害のことは、記憶から離れることはありません。

そういう案件に対処する度に、これだけは絶対にあつてはならないことであると、痛感させられます。

万が一にも、このような寂しい思いを誰もが体験することの無いよう、当署職員も、一丸となって頑張っておりますので、皆様におかれましては、今年も安全に最大のご配慮を頂きますよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。

新年早々から、礼を欠くような挨拶となりましたが、これからも会員事業場の皆様方の労働基準行政に対するご支援・ご協力の程、宜しくお願い致しますとともに、皆様方のなご一層のご発展をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせて頂き、

謹賀新年

日立労働基準監督署

職員一同

国民の司法参加

平成18年度

裁判員制度を学ぶ

日立地区安全衛生大会を開催

9月1日、多賀市民会館において、日立地区安全衛生大会が開催されました。冒頭に表彰式が行われ安全衛生優良事業場賞に3事業場、功績賞に2名が表彰され、野崎会長と細谷署長より、祝辞とご挨拶をいただきました。

次に、労働安全コンサルタントの小澤清氏から、労働安全衛生マネジメントシステム構築のための、茨城労働局作成ステップアップ方式の導入について、CDからの投影により、判り易く説明をいただきました。

引続いて水戸地方検察庁三席検事荒木真人氏より、「地域の安全と裁判員制度について」と題した特別講演が行われました。

検察庁の役割や特別刑法である労働安全衛生法に関し、検察庁と労働基準監督署との関係をはじめ、司法制度改革の大きな柱の一つである国民の司法参加、いわゆる裁判員制度等について、投影画面により詳細に説明をいただき、参加者はメモをとりながら熱心に耳を傾けていました。

最後に大会宣言を採択し、盛会のうちに閉幕しました。

特別講演 荒木 真人氏



細谷署長 挨拶

